

2 スタイルシートの基礎

2.1 CSS とは？

CSS, Cascading Style Sheets: カスケーディング・スタイルシート, スタイルシート
表示部分の調整

- ・コンテンツの配置
- ・スペース調整
- ・フォント・サイズ調整
- ・背景

HTML と同じく **W3C** で仕様が管理されている



文書の骨組み(構造) + 文章の見た目(表示・体裁)

→ HTML に CSS を組み込む感じ

CSS の歴史

1996 年 CSS1.0(レベル1)

実際にはブラウザの対応が必要なため、使用され始めたのは2000年~になってから

CSS のバージョン

HTML とは違って「バージョン」ではなく「レベル」

→ 機能追加・改善を行う、書式(文法)は同じ

→ バージョンを意識する必要はない

レベル3 ... より細かい書式設定、最新(一部レベル4が始まってはいる)

レベル2.1 ... 一般的に使用される

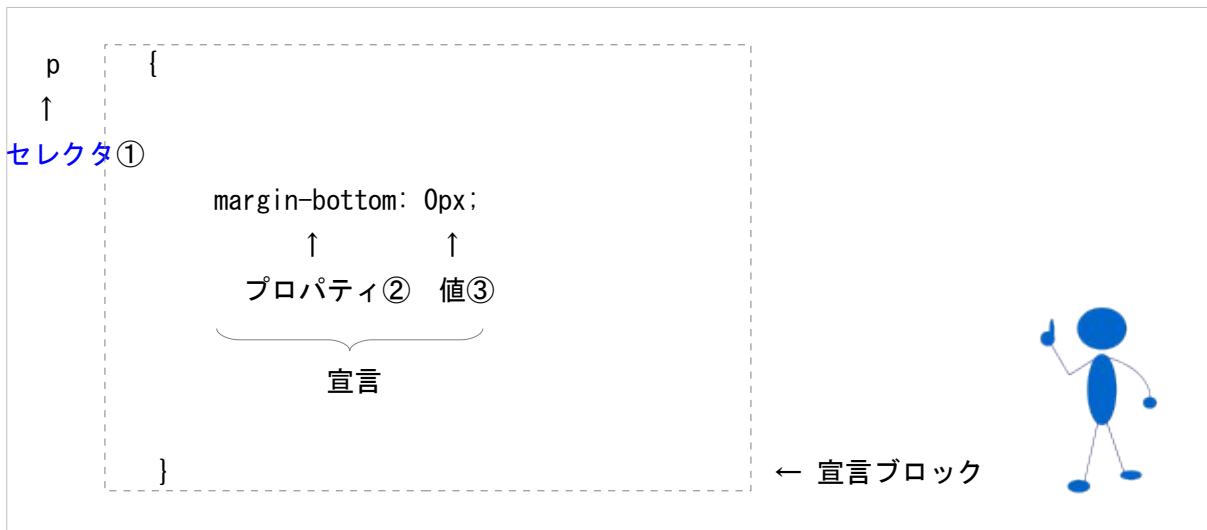
memo) HTML と同じく表示部分は閲覧環境によって変化する

→ まったく同じにすることはできない、同じ表示にこだわらない

2.2 CSSの基本書式

基本用語を覚えましょう！文法はHTMLと異なります！

ルールセット



↑ ↓

どこの(①) 何を(②) どうする(③)

重要) プロパティは半角文字で記述する

memo) 表現方法はC言語などのプログラミング言語に似ている？オブジェクト指向？
データベース, 検索??

セレクトアの種類

- 対象の要素(HTMLのタグ)
- 条件を細かく指定可, この条件のことを「パターン」, 条件に合うことを「マッチ」する
- セレクトアの組み合わせは可能(プログラミングの条件文?)

・タイプセレクトア

対象のタグ名を直接記述(指定の要素)

・全称セレクトア

*で、すべての要素にマッチする

・idセレクトア

idで名前をつけられた要素

#で始まる, id属性値は特定の1つにマッチする, 大小文字は区別される

- ・ class セレクタ
class で分類された要素
. で始まる。class 属性値で指定された複数の要素がマッチする
- ・ 擬似クラス
クラスセレクタの役割を拡張する
実際には要素が存在しない所を擬似的に要素のようにスタイルを設定する場合
: で始まる。
例) :hover, :active, :first-letter, :first-line
- ・ 子孫コンビネータ
特定タグの子要素にマッチさせる
子要素のタグの前に空白
- ・ 複数セレクタの列記
, で区切って複数セレクタを記述可能

継承

- 子要素にプロパティ値が引き継がれることを「継承」
- プロパティの種類によっては、継承されないものもある

おおよその目安

- ・ color, font-size - ○
- ・ margin, float - ×
- ・ 背景 - ×

確認) タグの親子関係とは?

CSS を記述する場所

- ・ タグの style 属性 - **インライン**
→ 手軽・全体管理は難しい(統一感の乱れ)
style 属性 ← セレクタ等は不要
- ・ 同一 HTML ファイル内(<head>内<style>タグ) - **内部参照**
style 要素
- ・ 外部 css ファイル(<head>内<link>タグ) - **外部参照**
→ 手間はかかるが、管理がしやすくなる。**一般的**
複数ページで使用できる
HTML ファイルがシンプルになる(小さくなる)
link 要素

セレクタ・ルールの優先順位

→ 複数のルールがマッチした場合は??

インライン > style 要素 > link 要素